

RD19 解説と全訳例

(1) Two recent studies show that it can.

Two recent studies	show	that	it	(can)	[be	considered truly reliable]
主	示す					何を

- ・ it は citizen science.
- ・ can 以下の省略は、前文の can citizen science be considered truly reliable から判断できる。省略には「①前に出てきたから2度目は省略」と「②皆が良く知っているの無くとも分かるから省略」の2つがあって、ここでは前者。

【全訳例】最近の2つの調査によって、市民科学を本当に信用できると考えて良いことが明らかになっている。

(2) The first focused on volunteer knowledge and skills.

The first	focused on	volunteer	{ knowledge and skills }
主	注目する		何に

- ・ the first は first study で、2つあるうちの「1つ目の研究」くらいの意味。
- ・ focus on A で「Aに注目する」とか「Aに焦点を合わせる」の意味。
- ・ volunteer knowledge and skills は、x (a+b)の共通関係に注意すること。そして、knowledge は数えられないから無冠詞・単数形のままで良いが、skill は数えられるので skills と複数形にしている。

【全訳例】1つ目の調査は、ボランティアの知識や技術に注目したものだ。

(3) In this study, a scientist asked volunteers to identify types of crabs along the Atlantic coast of the US.

a scientist	asked	volunteers	to identify <types>of<crabs>
主	要求する	何に	どの様なことを

along <the Atlantic coast>of<the US>

- ・ ask 人 to ~ で「人に~するように要求する・求める」。
- ・ types of crabs の A of B は「種類の of」。これは「単位・数量・種類の of」の1つで、A of B を「AのB」と訳出することができる。でも、種類の場合は「種類のB」でも「Bの種類」でも、どちらでもOK。

【全訳例】この調査の中で、ある科学者はアメリカの大西洋岸沿いに生息するカニの種類をボランティア達に特定してもらった。

(4) He found that almost all adult volunteers could perform the task and even third graders in elementary school had an 80% success rate.

He	found	that	文
主	分かった		何を

<文>

almost all adult volunteers	(could) perform	the task
主	遂行できた	何を

and

even third graders	had	an 80% success rate
主	持った	何を

in elementary school

- ・ perform the task で「課題・問題をクリアする」。
- ・ have a ~ percent success rate で「成功率は~%である」くらいの意味。
△日本の経済成長率は昨年は1%だった。

Japan had a 1% economic growth rate last year.

【全訳例】成人ボランティアのほぼ全員がその問題をクリアできたこと、そして小学3年生のボランティアでさえも80%の正解率だったということがその科学者によって明らかにされた。

(5) The second study compared professional and nonprofessional methods.

The second study	compared	{ professional and nonprofessional }	methods
主	比較した		何を

【全訳例】2つ目の調査では、プロと素人の手法を比較してみた。

(6) Following a strict traditional procedure, a group of 12 scuba divers identified 106 species of fish in the Caribbean.

a group of 12 scuba divers	identified	106 species of fish	in the Caribbean [Sea]
主	特定した	何を	

- ・ following a strict traditional procedure は分詞構文。
- ・ traditional は次の(7)の designed by professionals と対比・対照されているので、「伝統的な」よりも「従来の」とか「一般的な」の訳語の方が良い。今回のセンターの英文がボンヤリしているように感じるのはいくつかの形容詞の使い方。「伝統的」と考えると、その反意語の「伝統的でない」が頭に浮かんで、プロとアマの対立構造がどこかにいってしまう。そうではなくて、これも科学者たちが昔からやってきた方法を指している。
- ・ a group of 人数で「人数のグループ」。of は「構成要素の of」で、A of B が「BでできたA」。
△僕らは5人グループです。
We are a group of five.

・ 106 species of fish の A of B も「種類の of」で、A of B を「AのB」と訳出できる。ここでは「106種類の魚」。

【全訳例】(科学者がやってきた)従来の厳格なやり方に則(のつと)って、12人のスキューバ・ダイバーたちはカリブ海で106種類の魚を特定することができた。

(7) Using a procedure designed by professionals to be more relaxed and enjoyable for volunteers, a second group of 12 divers spent the same amount of time in the same waters.

Using a procedure

designed [by professionals] to be more relaxed
and
enjoyable for volunteers

a second group of 12 divers	spend	the same amount of time	in the same waters
主	使った	何を	

- ・ Using a procedure も分詞構文。
- ・ design to ~で「~するように工夫する・設計する・考案する」くらいの意味。ここでは procedure というモノを飾っているのだから「モノは人によってされる」から受け身になってる。
- ・ ここで professionals とは、やっぱり「科学者たち」のこと。だから、ここで対比・対立しているのは「科学者がちが昔からやっている厳格な研究手法」と「科学者たちがボランティアたちに手伝ってもらった研究手法」。どちらも科学者が関わっているのだから、「プロと素人の手法を比較」したことになる。こんなところが、今年のセンター英語がボンヤリとして分かりにくいところ。

【全訳例】ボランティアたちがもっとリラックスして楽しめるようにプロが工夫したやり方で、別の12人のダイバーたちが、同じ海で同じ時間を使って魚を特定した。

(8) Surprisingly, the second method was even more successful: this group identified a total of 137 species.

Surprisingly

the second method	was	even more successful
A	=	B

this group	identified	a total of 137 species
主	判別した	何を

- ・ even は比較級の more successful を強調して「一層」とか「さらに」。
- ・ コロン(:)は同格で、繰り返しの説明を導いて、「すなわち」とか「つまり」の意味。
- ・ a total of A で「合計でA」。この A of B は「数量の of」で、A of B を「AのB」と訳出するやつ。

【全訳例】驚いたことに、2つ目のやり方の法がもっと上手く行った。すなわち、この2番目のダイバー達は全部で137種類の魚を判別することができたのだ。

(8) Results like these suggest that research assisted by amateurs can be trusted when scientists organize it.

Results	suggest	that 文
主	示す	何を

like these

<文>

research	(can) be	trusted
A	=	B

assisted by amateurs

when	scientists	organize	it
	主	企画する	何を

- ・ results like these や research assisted by amateurs のように、主語に E T 型の飾りが付いた英文が多い。これも英文の読みにくさの1つだろう。
- ・ trusted は「信頼できる」の trust 派生の形容詞。アマチュアのデータが有効で信用できるという内容を表現するのに valid、reliable、trused の3つを使っていて、同じ言葉を使っていないところも英文のレベルが高い。
- ・ organize は「(催しなどを)準備する」が大体の単語集の第1語義に載っているのだけれど、ここでは「調査・研究を計画・企画する」の意味。上手に辞書や単語集の第1語義を使わないように工夫されている。

【全訳例】これらの結果から次のようなことが分かる。すなわち、アマチュアが手を貸した研究でも、それを科学者が企画するのであれば、信用できるということだ。